



2022年3月期 第2四半期決算説明資料

1 2022年3月期 第2四半期決算概要

2 2022年3月期 通期業績予想

3 キャッシュ・フローの状況 及び 分配(配当)方針

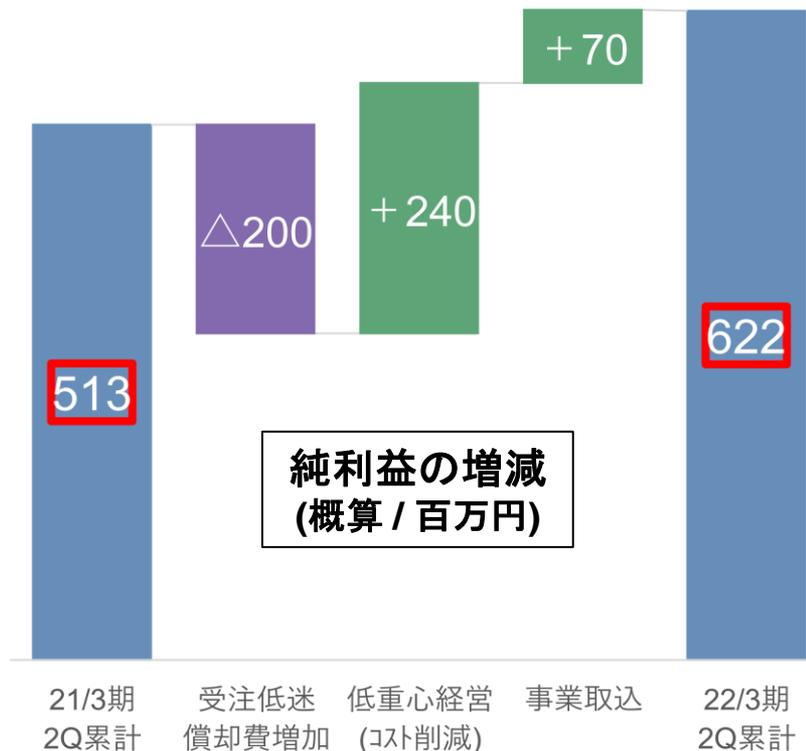
【ご参考】 2022年3月期 短期経営計画 (5/12公表)

2021年11月4日

ジャパンフーズ株式会社

(証券コード 2599 東証第1部)

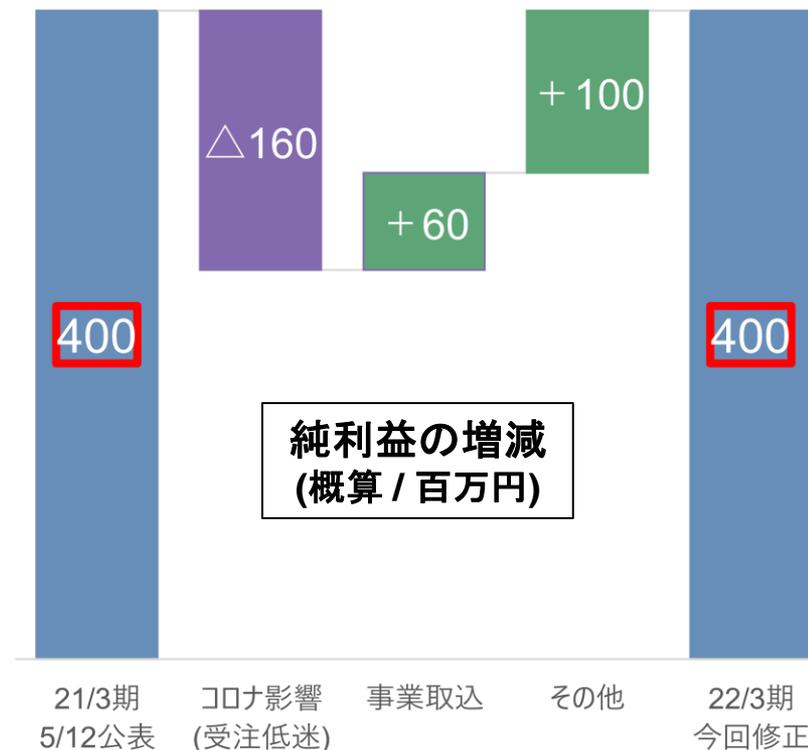
単位:百万円	21/3期 2Q累計	22/3期 2Q累計	増減
製造数(千ケース)	20,583	21,519	+936
営業利益	649	724	+75
経常利益	699	827	+128
連結純利益	513	622	+109



単位:百万円	21/3期 2Q累計	22/3期 2Q累計	増減
JF単体(コア)	444	485	+41
事業取込利益等	69	137	+68
ジャパンフーズ連結	513	622	+109

- 新型コロナウイルス感染症拡大による受注低迷および償却費増加
- 低重心経営(コスト削減)は大きく進捗
- 事業取込利益は堅調に推移、前期コロナ反動もあり増益

単位:百万円	22/3期 5/12公表	22/3期 今回修正	増 減
製造数(千ケース)	41,300	39,700	△1,600
営業利益	440	220	△220
経常利益	510	340	△170
連結純利益	400	400	±0



単位:百万円	22/3期 5/12公表	22/3期 今回修正	増 減
JF単体(コア)	260	200	△60
事業取込利益等	140	200	+60
ジャパンフーズ連結	400	400	±0

- 期初想定以上の新型コロナウイルス感染症拡大による受注低迷
- 事業取込利益は引き続き堅調
- その他、スクラップ&ビルド計画に係る固定資産撤去費用引当金の一部取崩し等

単位:百万円	21/3期 2Q累計	22/3期 2Q累計	22/3期 5/12公表
営業CF	1,434	2,282	2,800
投資CF	△2,449	△715	△800
フリーCF (連結)	△1,015	1,567	2,000
連結純利益	513	622	400

■ 営業CF(2Q累計)は前年同期を上回り、堅調に推移

■ 中間配当(10円) 11/4決議済
年間配当予想(27円)は不変

「大型設備投資一覧」

13/3期	ペット無菌充填 (E) 51億円
14/3期	ペット充填入替 (T) 27億円
18/3期	ペットボトル (F) 65億円
21/3期	SOT缶 (G) 等 73億円

■ 大型投資は新SOT缶ライン(21/3期)で一服、今後も近年の大型投資(左記)を磨きながら収益拡大を指向

■ 営業CFは「設備更新」「配当」「借入金返済」にバランス良く分配していく方針を継続

単体・コア

【ふ・け・かの進化】

低重心経営

品質経営

「ひとが第一」
「持続可能な経営」

	アクションプラン
防ぐ（ふ）	<ol style="list-style-type: none"> 1. ジャパンフーズ品質基準（JQS）に基づく品質改善活動の活性化 2. 工場の安定稼働による生産性の向上、最高品質の提供 3. 効率的な設備メンテナンス、予防保全の徹底 4. 新型コロナウイルス感染症の予防徹底
削る（け）	<ol style="list-style-type: none"> 1. アウトソーシングの見直し、業務内製化によるコストダウン 2. 物流効率化による余剰コストの削減 3. 省エネ（ユーティリティ原単位削減）、環境への配慮 4. 生産管理機能の強化による生産効率のモニタリング
稼ぐ（か）	<ol style="list-style-type: none"> 1. コロナ渦中・アフターコロナの顧客ニーズ汲み上げ、提案力強化 2. 高効率な工場稼働による受注・生産の極大化 3. 全方位外交の進化、既存・新規顧客満足の追求

連結・事業会社

中期経営計画

実績 / 2022年3月期 計画

単位：百万円		20/3期	21/3期	22/3期	20/3期 実績	21/3期 実績	22/3期 計画
連結純利益	JF単体（コア）	462	605	640	101	△724	260
	事業会社取込等	88	95	110	18	226	140
	ジャパンフーズ連結	550	700	750	119	△498	400

【各事業会社の状況・アクションプラン等】

JFウォーターサービス （水宅配事業）	Water Net （水宅配フランチャイズ事業）	TPC （海外飲料受託製造事業）
<ul style="list-style-type: none"> ■新商材の販売促進 ■自社商品販売とのシナジー ■配送エリア毎の物流効率化 	<ul style="list-style-type: none"> ■加盟店新規開拓による安定成長 ■生産拠点増加による物流効率化 ■JFとの人材交流加速 	<ul style="list-style-type: none"> ■業績安定、受注増加への対応 ■設備メンテナンスの効率化 ■チャイナリスク影響の極小化